

一般

**平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)**

評価対象事務事業名	老人保健費医療費給付事業			事業コード	0173
担当課等	所属名	市民部 健康保険課	担当係名		
	課長名	市民部 健康保険課	担当者名	柏原 陽子	電話番号

**1. 事務事業の基本情報**

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	暮らしを支える制度の充実と自立支援	コード 5
	基本事業	経済的自立の促進	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 3款 1項 3目 老人保健医療費給付事業(002-01) 老人保健費特別会計 1款 1項 1目 医療給付費(001-01) 老人保健費特別会計 1款 1項 2目 医療費支給費(001-01) 老人保健費特別会計 1款 1項 3目 審査支払手数料(001-01) 老人保健費特別会計 2款 1項 1目 償還金(001-01) 一般会計 3款 1項 3目 老人保健特別会計繰出金(004-01) 老人保健費特別会計 2款 1項 2目 還付金(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒ (開始年度 昭和58年度～)					
事務事業の概要	老人保健法に基づく医療の給付					
根拠法令等	老人保健法(現:高齢者の医療の確保に関する法律)					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
高齢者の疾病は慢性化することが多く、自己負担も多額になりがちであるため、経済的に弱い高齢者の医療費負担を軽減し、安心して治療を受けることができるよう、昭和58年2月に老人保健法が施行された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
老人保健法自体は平成20年3月末で廃止になったため、高額医療費などの支給に関する問い合わせ等が多い。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
平成20年4月より後期高齢者医療制度に移行しているため、過去の医療費給付や診療報酬の精算が主な業務となっており、その規模も縮小している。						

**2. 事務事業の実施状況(Do)**

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	健康保険の加入者 75歳以上の高齢者(一定の障害がある65歳以上の方を含む)を対象としている。また、対象者が医療機関で受診した際の保険診療報酬等の医療費を対象としている。	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 老人保健医療費受給者証交付者数	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 平成20年3月診療分までに対して、高額医療費や、補装具の給付を行った。また、社会保険支払基金及び国民健康保険連合会を通じて、各医療機関に、対象者の医療費に関する給付を行った。  23年度計画(23年度に計画している主な活動) 平成22年度同様、医療費の精算・給付が主な業務となる。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 老人保健医療費受給件数	単位	件
				B. 老人保健医療給付額(医療機関への給付)	単位	千円
				C. 老人保健医療給付額(対象者への給付)	単位	千円
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	医療費を助成することにより、高齢者が安心して医療を受けられるように支援する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 平均受診件数=年間給付件数÷証交付者数÷12月 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	経済的自立が促進される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	自立世帯数(保護廃止のうち死亡・他福祉事務所への移管・失踪等を除く)(単位:世帯) 1人当たり平均年間受診件数(単位:件) 市営住宅における高齢者仕様住戸率(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	老人保健医療費受給者証交付者数	人	0	0	0	0	0		年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	老人保健医療費受給件数	件	79,586	911	0	4	0		年度
活動 指標B	老人保健医療給付額(医療機関への給付)	千円	2,105,610	1,859	3,070	23	37		年度
活動 指標C	老人保健医療給付額(対象者への給付)	千円	86,581	16,646	14,091	110	27		年度
成果 指標A	平均受診件数=年間給付件数÷証交付者数÷12月	件	0	0	0	0	0		年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	2,236,516	119,924	29,602	5,471	5,307		*****
財源 内訳	④国	千円	815,074	72,853					*****
	⑤県	千円	171,149	0					*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	23,831	40,999	29,602	5,465	5,307	0	*****
	⑧その他	千円	1,226,462	6,072		6	0		*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	2,236,516	119,924	29,602	5,471	5,307		*****
延べ業務時間数		時間	6,000	600	600	300	300		*****
職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	24,000	2,400	2,400	1,200	1,200	0	*****
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,260,516	122,324	32,002	6,671	6,507	0	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 医療費が給付されることにより、高齢者が安心して医療を受けることができ、生活の安定が図られる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 老人保健法により定められている事業である。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 老人保健法によって定められている事業のため、廃止・休止の場合に施策に及ぼす影響は大きい。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 平成20年4月より後期高齢者医療制度(長寿医療制度)に移行したので、対象となる事業費は縮小される。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 平成20年4月より後期高齢者医療制度(長寿医療制度)に以降したので、対象となる事業費は縮小される。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 老人保健法に定められている、全国統一で行っている事業である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 老人保健法に定められている、全国統一で行っている事業である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 平成20年度からの医療制度改革(後期高齢者医療制度の創設)により、平成21年度をもって医療費給付事業は廃止となり、過去の医療費給付や診療報酬の精算を行っていく。 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) なし
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり : ② 有効性           ○ 妥当           ● 見直し余地あり : ③ 効率性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり : ④ 公平性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り, 反省点) 平成20年度の医療制度改革で後期高齢者医療制度ができたことから廃止となった事業であるが、現在も精算事務を継続しているものである。 平成23年度からは特別会計も廃止したもので、今後は、精算事務の適切な処理に努める。		
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 終了   <input type="checkbox"/> 継続  <input type="checkbox"/> 廃止   <input type="checkbox"/> 休止                      ↓                 </td> <td> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> </table> 時期:年度から <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> 方向付けの理由と改革改善の内容		<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 ↓	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 ↓	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携			